

「第90回国際協同組合デー」記念中央集会在開催されました

「国際協同組合デー」は世界の協同組合に携わる人々が平和とより良い生活をめざして協同組合運動の前進を誓い合う日として、毎年7月第1土曜日と定めています。7月7日に第90回を迎える「国際協同組合デー」を記念した中央集会在7月18日に東京都のなかのZERO大ホールにおいて開催されました。

国際協同組合年に開催された今年の集会在、内橋克人代表（IYC全国実行委員会）の「よりよい社会とは何か」「あるべき姿に近づくためにはどのような思想と実践が必要か」「政治を含め、現代日本を変えるために声を出さなければならない」という課題の提起に始まり、地域社会への貢献度の高い取り組みを表彰する「協同組合地域貢献コンテスト」の表彰式、千葉大学

大学院の小林正弥教授（政治哲学）をファシリテーターに迎えての集団討論会「協同組合白熱教室」が行われました。「白熱教室」には全労済のほか、協同組織からこれからの協同組合の活動を担う若手職員が約30名参加し、「協同組合の役割や存在意義」「今後の原発政策」をテーマに白熱した討論が繰り広げられました。

国連の定めた「国際協同組合年」である2012年の「国際協同組合デー」記念中央集会在は、「協同組合がよりよい社会を築きます」というIYCのスローガンをどう実践していくのかをもう一度考え、その協同組合の価値を未来につなぐ格別に意義深い集会在となりました。

実施概要

日時 2012年7月18日（水）13:00～

場所 なかのZERO大ホール

主催 日本協同組合連絡協議会（JJG）

2012国際協同組合年（IYC）全国実行委員会

次第 1. 開会挨拶 萬歳章（JJG委員長・IYC全国実行委員会副代表）

2. メッセージ紹介（ICA、内閣官房長官）

3. IYC実行委員会 内橋克人代表による課題提起

4. 協同組合地域貢献コンテスト

5. シンポジウム「協同組合白熱教室」

ファシリテーター：小林正弥千葉大学大学院教授

6. 閉会挨拶 浅田克己（JJG副委員長・IYC全国実行委員会副代表）



「協同組合白熱教室」の様子



発言の様子
全労済 妹背職員